

部落問題(差別)を正しく知ろう(第3回)

【問い合わせ】 人権政策課
☎ 47-1286 FAX 47-1288

今回はなぜ被差別部落の人たちが差別されるに至ったのかについてお話します。

古代より天変地異や、死・出血・火事・犯罪など通常の状態に変化をもたらすことを「けがれ」といいました。ここでいう「けがれ」とは、現代の不衛生という考え方とは異なり「恐れ」の対象とされ、平安時代以降「けがれ」を清める力を持つ人々が必要とされてきました。しかし、清める力を持つ人たちは異質な存在として差別を受けるようにもなりました。

近世になっても同じように「けがれ」を恐れる傾向があり、差別された人々は農林漁業を営みながら、死牛馬からの皮革製造、町や村の警備、犯罪者の捕縛や行刑役、城や寺社の清掃など社会的に必要とされる仕

事や役割を担い、中には経済的に豊かになる人も現れました。一方で江戸時代中期以降、幕府や藩が出す御触れなどによって、武士や町人などとは別の身分として位置づけられました。

このように、幕府などが差別を制度化し、町人などにも被差別部落に住む人たちを差別することを義務づけたことが人々の心に差別心を植え付け、差別は強化されたと考えられます。

こうしてみると、被差別部落の人たちが差別される理由はないと感じる人も多いのではないのでしょうか。

しかし、今もなお部落差別によって苦しんでいる人は多くいます。こうした現状を踏まえながら、もう一度部落差別の不合理さを考えてみてはいかがでしょうか。

お知らせ 宝くじ収益金の社会貢献について

サマージャンボ宝くじ（市町村振興宝くじ）の収益金は、市町が行う防災対策や、道路、公園、文化施設、福祉施設の整備、地域医療の充実支援など、よりよいまちづくりのために使われます。

サマージャンボ7億円
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)
サマージャンボミニ7千万円
(1等5千万円・前後賞各1千万円合わせて)
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
各1枚 300円
7月9日(月)2種類同時発売!
発売期間 7/9(月)～8/3(金)
公益財団法人三重県市町村振興協会

【問い合わせ】

(公財) 三重県市町村振興協会
☎ 059-225-2138

【担当課】 地域づくり推進課

お知らせ 夏の交通安全県民運動

【運動期間】 7月11日(水)～20日(金)

【運動の重点】

- 高齢者と子どもの交通事故防止
- シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

【問い合わせ】 市民生活課

☎ 22-9638 FAX 22-9641

お知らせ 7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

もうすぐ夏休みが始まります。子どもたちにとっては、普段体験できないことをするよい機会となります。しかし、「学校が休み」という解放感から生活が不規則になりがちで、問題行動も発生しやすい時期でもあります。

明日の伊賀市を担う子どもたちを社会全体で育むため、家庭・学校・地域が一体となって青少年健全育成の取り組みを推進することが必要です。このため、伊賀市青少年育成市民連絡会議と教育委員会では次の活動に取り組んでいます。

皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

◆青少年に有害な環境をなくす活動の推進

青少年の非行を誘発しやすい施設などを巡回し、関係者の協力を求めることで青少年を取り巻く有害環境をなくす活動を推進します。

◆研修会などの開催

青少年健全育成に関する講演会や研修会を通じて、青少年の健全育成についての理解を深めていきます。

【問い合わせ】

生涯学習課

☎ 22-9679 FAX 22-9692

お知らせ 「クールシェア」しましょう

夏の暑い日、家庭での電気使用量の半分以上はエアコンによるものです。

そこで、1人1台のエアコンの使用をやめ、涼しい場所に皆で集まってシェアする「クールシェア」を試してみませんか。

これは、家庭や地域で楽しみながら地球温暖化防止や節電にもなる取り組みで、家族が1つの部屋で過ごしたり、図書館や商業施設などで涼む、あるいは自然が多く涼しい場所に行くことなどが挙げられます。

こういった取り組みは、夏を快適に乗り切るためだけでなく、家庭や地域の絆を深めることにつながるのではないのでしょうか。

【問い合わせ】 環境政策課

☎ 20-9105 FAX 20-9107

今月の納税

●納期限 7月31日(火)

納期限内に納めましょう

固定資産税(2期)

国民健康保険税(1期)

※納税は便利な口座振替で

【問い合わせ】

収税課 ☎ 22-9612

お知らせ お詫びと訂正

広報いが市6月1日号32ページに掲載した「忍者市を知る」の記事の内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤) 忍者でもてなす春
正) 忍者に魅了された人々

【問い合わせ】

広聴情報課

☎ 22-9636 FAX 22-9617

催し いがまち人権パネル展

【と き】

7月10日(火)～19日(木)

午前9時～午後5時

※土・日曜日・祝日を除く

※12日(木)・19日(木)は午後7時30分まで延長して開館します。

【ところ】

いがまち人権センター

【内 容】

「発達障害啓発パネル」

【問い合わせ】

いがまち人権センター

☎ 45-4482 FAX 45-9130

催し 第34回 青山夏まつり

【と き】

7月15日(日) 午後3時～

【ところ】

青山ホール前・青山公民館周辺

【内 容】

こども積み木広場・ソーラン踊り・ヒップホップダンス・和太鼓演奏・花火・その他各種団体の出店・サマージャンボ宝くじの協賛による宝くじ等が当たるお楽しみ抽選会など

【問い合わせ】 第34回青山夏まつり実行委員会事務局（伊賀市商工会 青山支部）

☎ 52-0438 FAX 52-1330

【担当課】 青山支所振興課

伊賀の「いいね!」がいっぱい
facebook

伊賀市 公式
フェイスブックページ

2次元コード ▶



お知らせ 伊賀市多文化共生センターを紹介します

この施設は、在住外国人の生活や活動を支援するとともに、異文化理解を深めるための交流や学習、生活相談ができる多文化共生の拠点施設として平成28年8月にオープンしました。伊賀市国際交流協会(IIFA)も施設内に事務所を置いていますので、国際交流に関心のある人もぜひお越しください。

【業務内容】

○外国人相談窓口 ○多言語による情報提供 ○日本人も参加できる交流イベント ○外国人観光客への情報提供 ○各種講座 など

また、観光に訪れる英語圏・中国語圏の人向けの観光パンフレットや旅の情報なども提供しています。無料で使えるパソコンや有料のカラーコピー機も設置しており、操作方法が分からない場合はスタッフがお手伝いします。

【開所日時】

平日と第2・4日曜日の午前9時～午後5時（祝日・年末年始を除く。）

【ところ】

上野東町 2955 番地

◆多言語相談日

月曜日：英語

火曜日：スペイン語

水・金曜日：

ポルトガル語・英語

木曜日：中国語

第2日曜日：中国語

第4日曜日：中国語・英語

【問い合わせ】

市民生活課

☎ 22-9702 FAX 22-9641

伊賀市多文化共生センター

☎ 22-9629 FAX 22-9631

お知らせ コンビニ交付サービスの休止

市役所ネットワーク設定更新作業のため、次の期間は、コンビニエンスストアの店内にあるマルチコピー機で住民票の写しなどが取得できるサービスを休止します。

【休止期間】

7月14日(出) 終日

【問い合わせ】 戸籍住民課

☎ 22-9645 FAX 22-9643

芭蕉翁記念館 だより

皆さんは上野公園内の芭蕉翁記念館に来られたことはありますか。記念館では、年に4回、展示品を入れ替えて企画展を開催しています。芭蕉さんに親しみ、知るためにも、ぜひ記念館へお越しください。

【夏の企画展】

7月7日(土)～9月19日(水)

学芸員が教える芭蕉さんや俳句の豆知識

今回は芭蕉さんの句ができるまでのエピソードを紹介します。

芭蕉さんの代表句「古池やかはづ飛込水の音」は、「古池や」を「山吹や」とする弟子の案を退けたという逸話が『葛の松原』という本に残っています。

また、『更科紀行』に載っている「吹きとばす石はあさまの野分哉」の句は「吹きとばす」の部分が「吹落す」となっている句などがあり、何度も検討を重ねて完成しています。芭蕉さんの句作に対する努力がうかがえます。

【問い合わせ】

文化交流課

☎ 22-9621 FAX 22-9619

芭蕉翁記念館

☎ 21-2219 FAX 22-9619

「あんしん・防災ねっと」

携帯電話などのメールアドレスを登録した人には、市から緊急情報メールが届きます。また、災害時の緊急情報・避難所情報や休日・夜間診療所情報などが閲覧できます。

<http://www.anshin-bousai.net/iga/>

※携帯電話のバーコードリーダー機能で読み込んで登録できます。



2次元コード ▶

【問い合わせ】 総合危機管理課

☎ 22-9640 FAX 24-0444